



「今日もいい日になりそう」と思える朝に

校長 橋元 忠史

毎朝、目を覚ましたとき、「今日はどんなステキな一日になるのだろう」と、あえて楽しみに思いながら布団から出ることができたなら、その日はきっとかけがえのない1日としてスタートをきるようになるのではないのでしょうか。もし私たちの毎日が一本の映画のようなものだとしたら、そしてその主人公が自分自身だとしたら、きっとそうやって布団から飛び起きたと同時にオープニングの軽快なBGMが流れ、タイトルが現れることでしょう。

映画の主人公の物語は、いつも順調に進むわけではありません。思い通りにいかない出来事が起きたり、失敗したり、悩んだりする場面もあります。しかし、映画全体を振り返ってみると、そうした出来事があるからこそ、その後の成長や達成の場面がより輝いて見えるものです。もし何の困難も起きないストーリーだったとしたら、それはきっと心に残る映画にはならないでしょう。

子どもたちの学校生活も同じです。勉強の中で分からないことに出会うこともあれば、友達との関わりの中で気持ちがすれ違うこともあります。そういう辛さや苦しさを伴う経験の一つ一つが、子どもたちの物語を形づくり、次の成長へとつながっていきます。だからこそ、一日の始まりの気持ちはとても大切なのだと思います。朝、家を出るとき、「今日はどんな一日になるだろう（ワクワク）」「今日も（根拠ないけど）ステキな一日になりそうだ～」と思いながら歩き出すことができたなら、その日出会う出来事も、自分の物語の大切な一場面として受け止めることができるのではないのでしょうか。家庭で交わされるアイコンタクトと共に投げかける「行ってらっしゃい」という一言や、「今日もいい日になりそうだね（なるといいね）」というポジティブな声かけとスマイルは、子どもたちの背中をそっと押し、新しい一日に向かい、自分の物語を描こうとする力になるのだと思います。



この一年、子どもたちはさまざまな経験を重ねながら、『学びと育ちのステージ鹿附小』において、それぞれの人生ストーリーを歩んできました。その姿を見るたびに、子どもたちの確かな成長を感じます。そして、その物語を日々支えてくださっているのが家庭であり保護者の皆様の存在です。

本年度も、本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。子どもたち一人一人が、自分の人生の主人公として、「今日もいい日になりそう」と思いながら学校へ向かうことができるよう、これからも学校と家庭が手を取り合い子どもたちの学びと育ちを支えていければ幸いです。ありがとうございました。

【4月の主な行事】

春季休業 ～4月6日（月）	16日（木）	学年・学級PTA（中） 全国学力・学習状況調査（6年生）（～17日）
7日（火）新任式・始業式 入学式準備（5・6年生）	17日（金）	学年・学級PTA（低）
8日（水）入学式	21日（火）	PTA学年合同役員会・専門部会 引継会・PTA理事会
9日（木）1年生短縮授業【～13日（月）】 結核検診問診票配布	24日（金）	春の一日遠足
10日（金）夏服更衣準備期間（～4/30）	30日（木）	親子通学子ども会・リレー大会（全学年） PTA・後援会総会・PTA合同役員会 専門部会
14日（火）1年生給食開始		
15日（水）学年・学級PTA（高） 結核検診問診票回収 尿検査一次（～17日）		

～周りの「こと・もの・ひと」を大切にしよう～

今年度の附属小学校PTAテーマは、「周りの『こと・もの・ひと』を大切にしよう」でした。子どもたちが、身の周りの「こと・もの・ひと」との豊かな関わりを通して、影響を与えられたり、支えられたりしながら成長できるように学校と家庭で連携していくことを年度初めのPTA・後援会総会において、共有しました。

附属小学校PTAテーマに関わるお子さんの様子はいかがでしたでしょうか。学校では、日々の学校生活や行事だけでなく、PTA活動の一環である親子ふれあい活動や各専門部活動、ちからの会のイベント企画などを通して、子どもたちと共に、保護者の皆様、学校職員が豊かな「こと・もの・ひと」との関わりを体験できたと考えています。

今年度の附属小学校PTAテーマへの御理解や取組ありがとうございました。

「6年生を送る会」を開催しました

3月10日（火）に、6年生を送る会が行われました。体育館に全校児童が集合し、1年生から5年生は、6年生への感謝の思いや進学に向けたエールを言葉や歌などで伝えました。初めの5年生の言葉では、附属小学校のリーダーとして力強く引っ張ってくれたことについての感謝の思いが語られました。そして、これから5年生が伝統を引き継ぎ、附属小学校をリードしていく意気込みが語られました。また、児童会旗の引き継ぎも行われ、会の最後には、6年生の代表児童が在校生に対して、感謝を伝え、附属小学校で過ごしていく在校生へメッセージを送りました。

6年生を送る会を通して子どもたちは、これまで附属小学校の中心となってがんばってきた6年生への感謝の気持ちをもつとともに、これからは自分たちが附属小をよりよくしていくという気持ちを高めることができたと考えます。



【6年生が3年前の運動会で体験した附属ダービーについてクイズを出し、思い出に触れる3年生の姿】



【6年生を送る会の最後に、在校生に対して感謝を伝え、卒業への思いを語る6年生の姿】

「防災について考える日」について

本校では3月11日を「防災について考える日」として位置付けています。これまでの防災訓練での学びについて振り返ったり、東日本大震災について考えたりする活動を通して、自分の命は自分で守ることの大切さを再認識し、安心・安全に生活できることの有り難さに気付き、これからの安心・安全な生活に生かすことができるようにすることをねらいとしています。実際に災害にあった想定として、給食時間に教室内の照明を消して、非常食のカレーやミニクラッカー、ペットボトルに入った水などを飲食する体験をしたり、校内放送のスライドを視聴して「災害時に想定される問題」について考えたりする活動を展開しました。



【防災給食を食べながら、スライドを視聴する3年生】

ご家庭においても、防災時の対応について是非話をされてください。